年間授業計画　様式例

東大和南 高等学校 令和６年度（３学年用） 教科　　芸術　　科目　総合美術

教　科：　芸術　　科　目：　総合美術　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　選択者

教科担当者：伊藤和美

使用教科書：（ なし　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　総合美術　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A 単元　静物デッサン 【知識及び技能】 ・基礎形態の捉え方を学び、立体的に表現する方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・基礎形態デッサンの模写の学びを生かして実際のモチーフを立体的に描写する技術を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 鉛筆の削り方や、鉛筆の使用方法、また形の捉え方をデッサンの模写を通して指導する。また、デッサン模写で学んだ形態の捉え方を応用し、実際の静物モチーフを立体的に描写する力を身に着けさせる。 ・教材 教科書、基礎形態デッサン見本プリント、静物モチーフ等	○	○		○	・意欲的、主体的に制作に取り組めていたか。 ・３種類の基礎形態が適切な鉛筆の使用によって、立体的に表現できているか。 ・基礎形態のデッサンで学んだ描き方を応用して、静物モチーフを写実的、立体的に表現できているか。 ・配当時間なりの完成度に仕上げることができているか。 ・制作後の振り返りのレポートが、よく考えたうえで記入できているか。	○	○	○	10
1学期 2学期	B 単元　人工物をモチーフとした平面構成 【知識及び技能】 ・モチーフを単純化し、立体的かつ美しく構成する方法を学ぶ。 ・アクリルガッシュやポスターカラーを用い、ベタ塗りの技法で着色する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフの単純化と繰り返しによる配置をどのように行うと、意図する効果が得られるのかについて考える。 ・意図する効果を得るための配色について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の完成度を上げるために工夫をし、最後まで丁寧に仕上げていく。 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 モチーフの単純化の作業、画面構成の方法、色彩の基礎知識、組み合わせの方法、ベタ塗の方法等。 ・教材 教科書、課題説明プリント、参考作品、アイディアスケッチ用紙、振り返りレポート等。	○	○		○	・意欲的、主体的に制作に取り組めていたか。 ・選んだモチーフの形態や材質の特徴を的確に表現できているか。 ・自身が意図したとおりの効果的な配置、配色とすることができているか。 ・ベタ塗りで丁寧に着色し、汚れた個所などの修正も適切にできているか。 ・配当時間なりの完成度に仕上げることができているか。 ・制作後の振り返りのレポートが、よく考えたうえで記入できているか。	○	○	○	20
2学期 3学期	C 単元　自由課題制作 【知識及び技能】 ・自分の選んだ画材の特徴を生かして、それぞれの主題をデッサン、または作品として表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら選んだテーマが、どのようなモチーフで、そのように描き表せば効果的に表現できるのか深く考え、試行錯誤しながら制作に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・より完成度の高い作品となるように限られた時間の中で、主体的に制作に取り組む。 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 B3画用紙やケント紙を用いて制作する。美術系進学希望者は実技受験に関わる制作、そうでない生徒は自由に作品制作を行い、個に応じた適切な指導を行う。 ・教材 モチーフや写真資料、参考作品、事後レポート等。	○	○	○	○	・意欲的、主体的に制作に取り組めていたか。 ・制作にあたってのテーマ設定や下絵がしっかりとできているか。 ・作品は試行錯誤しながら、より高い完成度を目指して描き込まれているか。 ・配当時間なりの完成度に仕上げることができているか。 ・制作後の振り返りレポートについて、自分の作品についてよく分析した上で、記入できているか。	○	○	○	40
											合計 70